

令和 2 年 2 月 14 日

土地・建設産業局 地価調査課

主要都市の地価は 97% の地区で上昇基調

～令和元年第 4 四半期の地価 LOOK レポートの結果～

主要都市の高度利用地等(全国 100 地区)における令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 1 月 1 日の地価動向を調査した地価 LOOK レポートによれば、主要都市の地価は全体として緩やかな上昇基調が継続(上昇地区数は引き続き 97 地区)。

- ◆上昇地区数の割合が 8 期連続して 9 割を上回る。緩やかな上昇(0～3%の上昇)の地区が 74 地区で最多。
- ◆商業系 5 地区(太閤口(名古屋市)、京都駅周辺(京都市)、河原町(京都市)、烏丸(京都市)、下通周辺(熊本市))で上昇幅が縮小し、3～6%の上昇から 0～3%の緩やかな上昇となった。

【上昇の主な要因】

景気回復、雇用・所得環境の改善、低金利環境の下で、

- 空室率の低下、賃料の上昇等堅調なオフィス市況
- 再開発事業の進展による魅力的な空間・賑わいの創出
- 訪日外国人をはじめとする訪問客の増加による店舗、ホテル需要

- 利便性の高い地域等でのマンション需要

上記要因により、オフィス、店舗、ホテル、マンション等に対する不動産需要が引き続き堅調。

【前期から変化した地区】

- 上昇幅が縮小(3～6%→0～3%)(5 地区)

(名古屋市) 太閤口

(京都市) 京都駅周辺、河原町、烏丸

(熊本市) 下通周辺

【比較的高い上昇を示した地区】

- 6%以上の上昇(4 地区)

(大阪市) 西梅田、茶屋町、新大阪

(那覇市) 沖縄県庁前

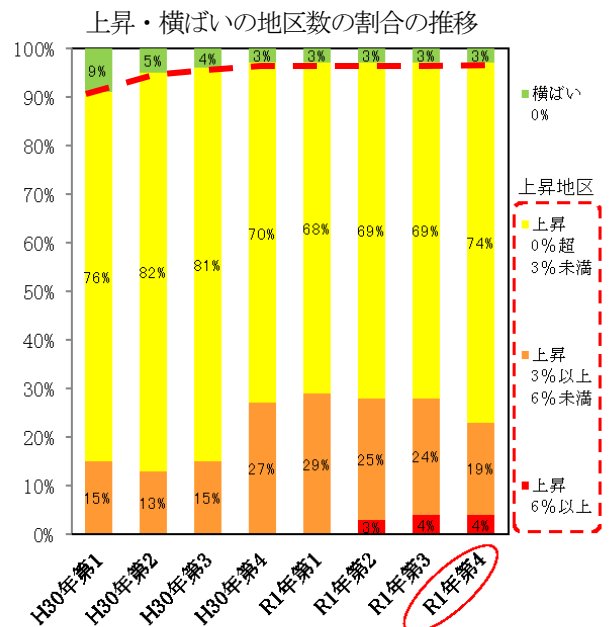
- 3～6%の上昇(19 地区)

(札幌市) 駅前通 (仙台市) 錦町、中央 1 丁目 (千葉市) 千葉駅前

(東京都) 歌舞伎町、渋谷、中野駅周辺 (名古屋市) 伏見、久屋大通駅周辺、金山

(大阪府) 中之島西、北浜、心斎橋、なんば、福島、天王寺、江坂

(神戸市) 三宮駅前 (福岡市) 博多駅周辺



※地価 LOOK レポート(主要都市の高度利用地等の地価動向報告)とは、国土交通省が、主要都市の高度利用地等を対象に、四半期毎の地価動向を調査し、先行的な地価動向を明らかにするもの。調査対象は全国 100 地区で、内訳は以下のとおり。調査結果の詳細は、以下の HP で公開。

- 調査対象内訳：東京圏 43 地区、大阪圏 25 地区、名古屋圏 9 地区、地方圏 23 地区

- ホームページ：http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000045.html

<お問い合わせ先>

土地・建設産業局 地価調査課 地価公示室

主任分析官 時津(内線 30366)、分析官 堀井(内線 30367)、小川(内線 30323)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8379 (FAX) 03-5253-1578